

にこにこ 1年生

入学式では緊張気味だった1年生ですが、学校生活にも少しずつ慣れ、笑顔がたくさん見られるようになりました。休み時間になるといつも、優しいお兄さんお姉さんが1年生を遊びに誘いにきてくれます。「学校って楽しいな。」と感じてきているようです。



平仮名や数字の勉強も始まりました。「先生、今日は“う”を勉強したいな。」など、とても意欲的に勉強しています。

ちゃぼのおせわをがんばっています。かわいいちゃぼにさわれるのがうれしいです。 [さとう]
そうじでゆかをふくことがたのしいです。がっこうがきれになるのがうれしいです。 [くずね]
ひらがなのべんきょうをがんばっています。もっといろんな字をしりたいです。 [さとう]

わくわく・どきどきする気持ちを大切に、全校のみんなに支えてもらいながら、いろんなことにチャレンジしていきます。

- 1日(月) 発育測定 委員会活動
- 8日(月) 第 期クラブ開始
- 9日(火) 尿2時検査 交通安全教室
- 10日(水) 全校朝会
- 12日(金) 耳鼻科検診
- 14日(日) 空びん整備作業
- 15日(月) 委員会活動
- 17日(水) 音楽朝会 内科検診 二種混合 水泳前健康相談
- 22日(月) クラブ
- 24日(水) 児童朝会(保健給食)
- 25日(木) 集・貯金日
- 26日(金) プール清掃
- 29日(月) 運動会前日振替週休日(休み)
- 31日(水) 発表朝会(3・4年)

5月の予定



はまなす

松ヶ崎小学校

NO. 267

平成18年4月25日

第2号

平成18年度学校経営の方針

校長 大竹

この一年間、松ヶ崎小学校の子どもたちの教育に当たって強く感じたことは、「少人数だからこそできる温かなぬくもりのある教育」「一人一人を大切にした教育」が継続されてきている伝統です。今年度もその伝統を大切にしつつ、「一人一人のよさが輝く学校」をめざした学校経営に努めます。それは、一人一人がその子自身のよさ(個性や能力)を発揮し、成長している姿がみんなに見え認められている学校です。学校行事や大会等に限らず、普段の教育活動や学校生活でこそ、一人一人のよさが発揮できるよう取り組みます。

今年度、全校体制で重点的に取り組む内容は次のとおりです。

- 1 確かな学力の定着～「重点指導單元におけるきめ細かな指導」を実践します。
- 2 豊かな心の教育～体験活動と道徳の時間を関連付けた指導を実践します。
- 3 健康な体づくり～体力向上、健康・食の活動を継続します。
- 4 連携・交流～家庭・地域・中学校・保育園との連携・交流を推進します。

大きな柱は昨年の継続ですが、改善すべき点については見直しをして取り組みます。

また、保護者や地域の皆様からご協力をいただいております各行事や活動ごとのアンケートについて見直したいと考えています。アンケート結果をもとにして、次学期や次年度の改善計画を作成する際により一層活かせる外部評価になるよう取り組みます。アンケート評価の依頼の際には、ぜひご協力ください。

保護者、地域の皆様のご協力、ご支援を本年もよろしくお願いたします。



一人一人のよさが輝く学校<5つの具体的方策>

「確かな学力」の育成に努めます。

松ヶ崎小学校では、子どもたち一人一人に「確かな学力」が身に付くよう、次のような取組に力を入れていきます。

<基礎・基本の定着> 教育内容の厳選によって生まれた時間的・精神的なゆとりの中で、基礎・基本が確実に習得できるよう教育活動を工夫しています。

個に応じた指導

少人数学級のよさを生かし、個々の子どもの学習の様子を確認しながら、きめこまかな指導を行っていきます。級外職員も授業を担当し、今年度も算数は全学年とも学年別単式指導の形態にします。

読み・書き・計算など基本的な内容がしっかりと身に付くよう、ドリルや小テストを活用し繰り返して練習してきます。毎学期、漢字テスト・計算テストを実施し習熟を図ります。

<思考力・判断力・表現力などの育成> 学ぶ意欲をもち、自分で考え判断したり表現したりするなどして、自ら学び自ら考えることができるよう授業の充実を図ります。

聞く・話す・書く活動

学級朝会や発表朝会をはじめ学校生活の様々な場面で、話をよく聞いたり進んで話したりする機会を意図的に設定してきます。また、発達段階に応じて、学級日誌や日記、観察記録などを通して、日常的に文を書く活動を取り入れていきます。

体験的・問題解決的な学習

観察・実験、調査・研究、発表・討論、ものづくりなどの体験的・問題解決的な学習を多様に取り入れていきます。

総合的な学習の時間「松っ子」

各教科で身に付けた知識や技能を総合的な学習の時間に生かしたり、総合的な学習の時間で身に付けた力を各教科の学習に生かしたりしながら、「知の総合化」を図り子どもの知識や体験を深めていきます。

「豊かな心」の育成に努めます。

思いやりやさしさ、感謝の心などの豊かな人間性、社会性を育てます。生き物に親しみ、生命を大切にする心、人のために進んで活動に取り組む奉仕の心を育てるため、全校で一緒に次の活動を行います。

<自然体験・社会体験の工夫>

飼育栽培活動

- ・チャボの飼育活動・プランターでサクラソウの栽培をします。
- ・米、野菜の栽培活動：7月の野菜祭で収穫を楽しみます。

福祉ボランティア活動

- ・まつさきの里訪問：交流活動やボランティアで福祉について学びます。

- ・ツートタイム：毎週水曜日、美化活動などみんなの役に立つことを考え実行します。

<読書の充実>

- 毎週月・火・金曜日の全校朝読書や読み聞かせなどで、本に親しむ機会を設定しています。読書を通して心の豊かさを培います。



健康な体づくりに努めます。

「めざそう！松っ子健康・体力アップ」をご家庭と連携し、運動を推進し体力の向上を図ります。

健康・食の活動も継続し、健康で楽しく明るい生活を営む態度を育てます。

<体力づくり> 体力テストを実施し、不足している体力を育成します。

<健康・食> 子どもの健康・食についての意識の向上や態度形成を図ります。また、健康・食に関する懇談を行います。

連携・交流に努めます。

子どもの学力・心・体の育成に向け、家庭や地域の方々と連携・協力した教育活動を進めます。

保育園や中学校と教育課題を共有することにより、教育活動の成果も高めます。

<家庭・地域との連携> 遠泳大会や米作り等、保護者や地域の方々からご協力をいただきながら学校行事や諸活動を展開し、ねらいの達成を図ります。

<保育園との連携・交流> 保育園と連携し、保育園児と1・2年生との交流活動を実施したり保護者向け講演会を共催で開催したりします。

<中学校との連携・交流> 中学校職員との合同研修会を毎学期開催し、情報交換や授業研究を通して中1ギャップの解消を図ります。

職員の指導力の向上に努めます。

研究授業を通して、教師としての授業力を高めたり、人権教育や特別支援教育の職員研修を通して、理解を深め指導に生かしたりします。

職員の指導力の向上に努めます。